

地球のチカラで走る！ソープボックス®モックカーって何ですか



木と紙のシンプルなキット。工作に必要な道具は木工用接着剤と着色用具のみ



はじめに_モックカーイベントをとoshした気付き

モックカーの正式名称は「地球のチカラで走る！ソープボックスダービー(*1)・モックカー(*2)」といい、元々は日本では馴染みがなかった重力カーレース「ソープボックスダービー」の説明ツールとしてつくったキットです。

その後、このモックカーから「作って競うモックカー&タイムアタックレース」というイベントが生まれ、近年では全国で年間30回以上行われ、10,000組近くのご家族に親しんでいただけるまでになりました。

数々のイベントをとoshi、当初の目的から発展し【クルマへの親しみ】【ものづくり喚起】【創意工夫の喜び】を伝える役割を担っていることに気付き、この辺りにモックカー活用の可能性があると考えます。また、児童生徒を対象とした【エネルギーを学ぶ理科教材】あるいは【STEM(*3)教材】に適していることも分かりましたので、その分野にも積極的に交わり、ソープボックス普及のフィールドを広げます。

10年の経験知から独自に作った内容 — 小さなお子さま連れのファミリーイベントや児童生徒が対象の工作&理科教室、そして2019年にスタートしたモックカーを用いた【交通安全教室】など — 以下の3つの活用についてご提案いたします。いずれも参加者と主催者の距離がグッと近づく内容です。

参加のご家族、特に子どもたちにとって有意義なひとときとなるよう、主催者の皆様の趣旨・対象者・会場（屋内あるいは屋外）・使用可能な面積・催事の規模などをお伺いできれば、可能な限りのお手伝いをいたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

モックカー普及のねらい

NPO法人日本ソープボックスダービー®協会(NPO_NSBD)(*4)の活動主意に賛同し

以下に寄与します

- ① 親子のクルマやレースへの更なる親しみ
- ② 青少年に対する科学・技術への興味喚起
- ③ 子どもたちの交通安全意識の更なる高揚
- ④ ソープボックスダービーのファンづくり活動
- ⑤ NPO_NSBD の財政面補完の活動

お問合せ：ソープボックスダービーファンづくり活動

090-2135-9345 / info@anchor-man.jp

公式サイト <https://anchor-man.jp>

監修・協力：NPO 法人日本ソープボックスダービー® 協会

企画・製造・販売・行事実施主体：アンカーマン株式会社



活用例_1 作って競うモックカー&タイムアタックレース

対 象	お絵描きができるような年齢の幼児～小学生とそのご家族		
会 場	<ul style="list-style-type: none"> ・ディーラー店舗などの小スペース ・体育館のような屋内施設 ・風の当たらない屋外 		
内 容	工 作	木製シャシの組付けと紙のシェル（ボディ）へのカラーリング	
	車 検	クルマを走らせる前には「車検」があることを習い、車検官から合格シールを貼ってもらいレースに参加	
	レ ー ス	1/1,000 秒まで測れる計測器を用いたタイムアタックレース	
	表 彰	最速賞やデザイン賞	



お 問 合 せ：ソープボックスダービーファンづくり活動

090-2135-9345 / info@anchor-man.jp

公式サイト <https://anchor-man.jp>

監修・協力：NPO 法人日本ソープボックスダービー® 協会

企画・製造・販売・行事実施主体：アンカーマン株式会社



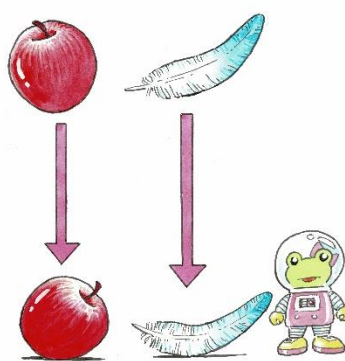
活用案_2 つくるくん&リカちゃんを考えるSTEM教室

地球のチカラで走る！ソープボックス®モックカー

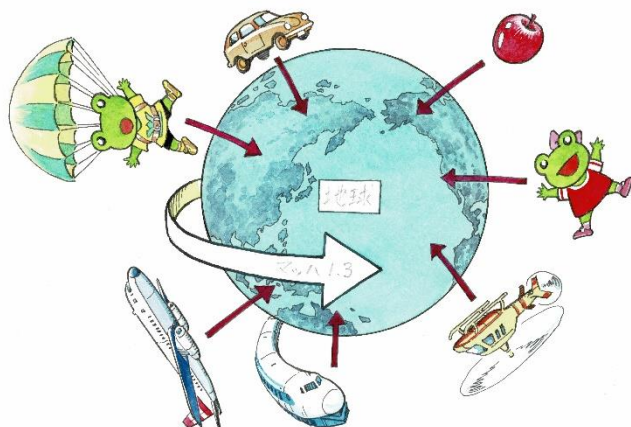
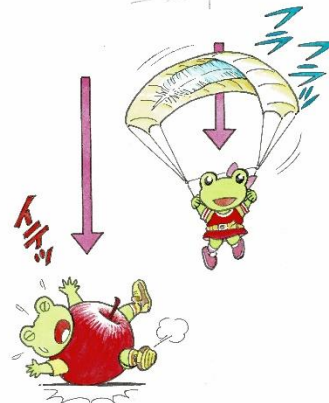
(理科教材：実用新案登録 第 3162882 号)

対象	小学生、あるいは小学生とご家族向け	
会場	モニターの使用が可能なスペース（屋内が相応しい）	
内容	座学	エネルギーについて
	実技	モックカー作り
	車検	試走 工夫・改善
	実験	タイムアタックレース
	座学	まとめ
イベント 名称案	(例) 作る・競う・学ぶモックカー教室	
導入	モックカー教室には、実際に手を動かしてモノを作る（技術）、タイムアタックレースで検証する（科学の実験）、エネルギーについて学ぶ（座学）などの要素が含まれており、子どもたちは遊びをとおして高度な科学（物理）・技術教育を体験として受けることができます。	

真空中



空気中



お問合せ：ソープボックスダービーファンづくり活動

090-2135-9345 / info@anchor-man.jp

公式サイト <https://anchor-man.jp>

修・協力：NPO 法人日本ソープボックスダービー® 協会

企画・製造・販売・行事实施主体：アンカーマン株式会社



活用案_3 蓼科山聖光寺さんにとっこりかえる交通安全

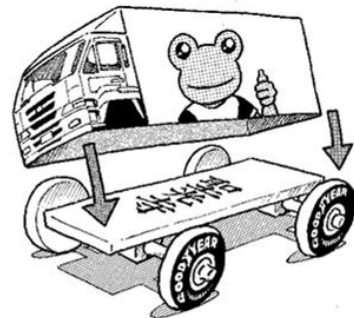
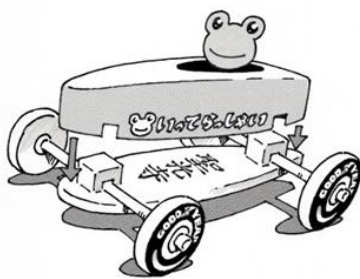
世界初！自分で作るクルマ型のおまもり

(自動車型護符：実用新案登録 第3162707号)

対象	幼児～小中学生とそのご家族	
会場	<ul style="list-style-type: none"> ・ディーラー店舗などの小スペース ・体育館のような屋内施設 ・風の当たらない屋外 	
内容	工 作	<ul style="list-style-type: none"> ・木製シャシの組付け ・紙のシェル（ボディ）へ家族の皆が「交通安全の誓いの言葉」を書きます (例) パパは通勤の運転を気をつけるよ。 私は歩きスマホはしません。など
	車 検	クルマを走らせる前には「車検」があることを習い、車検官から合格シールを貼ってもらいレースに参加
	レ ー ス	1/1,000秒まで測れる計測器を用いたタイムアタックレース



フロアボードには聖光寺の
焼印が施されています
(おまもり本体)



出来上がりイメージ
ソープボックスカー型と
トラック型があります



カエルの家族のキャラクターを作りました
毎日元気に、かえ朗パパ
安全運転、むじ子ママ
左右をよく見て、わたるくん
飛び出しません、とまれちゃん
の4人です。ヨロシクお願いします



注 釈

(*1)ソープボックスダービー

人が乗って坂道を走るエンジンを使わないクルマ【重力カー】や、そのクルマを使った競技【重力カーレース】のことを世界ではソープボックス® / ソープボックスダービー®と呼んでいる。特に、米国オハイオ州アクロン市で80年以上続く「オールアメリカン・ソープボックスダービー® 国際大会」という世界最高峰の子どもの重力カーレースのことをさす。

(*2)モックカー

公式ソープボックスカーの約1/10モデルのミニカーで、木と紙のシンプルなキットになっている。工作に必要な道具は木工用接着剤と着色用具のみ。

(*3)STEM

Science（科学）の「S」、Technology（技術）の「T」、Engineering（工学）の「E」、Mathematics（算数・数学）の「M」の頭文字で「ステム」と呼ぶ。米国で20世紀後半に始まった科学技術教育の一分野。

(*4)NPO法人日本ソープボックスダービー®協会(NPO_NSBD)

日本では、1998年に個人が本活動を立ち上げ、2001年に国内初の日本大会を開き以後毎年、日本代表を国際大会へ派遣。2003年にNPO法人を設立。主事業は代表選考会の開催や開催支援・国際大会の参加支援。<https://nsbd.org>

お問合せ：ソープボックスダービーファンづくり活動

090-2135-9345 / info@anchor-man.jp

公式サイト <https://anchor-man.jp>

監修・協力：NPO法人日本ソープボックスダービー®協会
企画・製造・販売・行事实施主体：アンカーマン株式会社